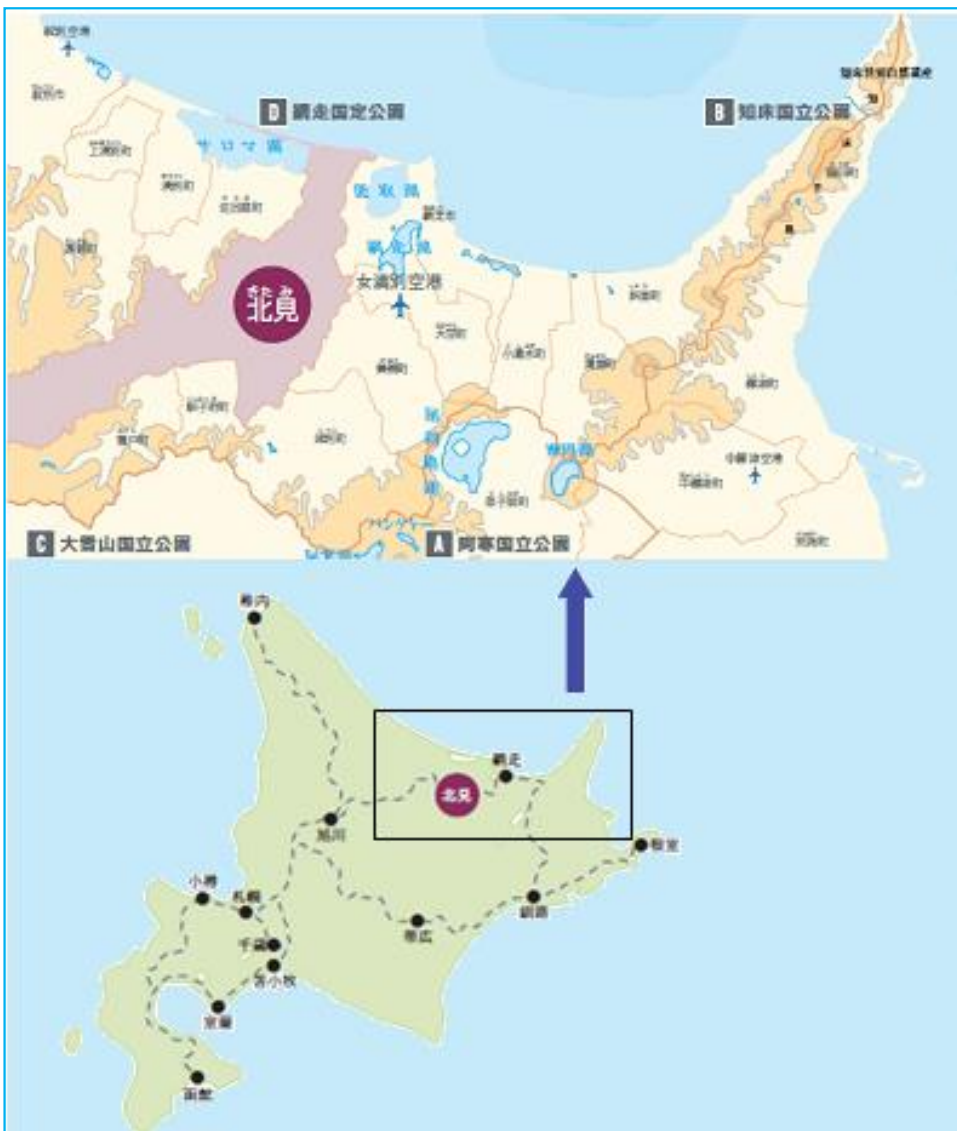


国立大学法人 北海道国立大学機構 **北見工業大学**
自然と調和するテクノロジーの発展を目指して

令和 5 年度保護者懇談会（春季） 全体説明



北見市と周辺の紹介



北見市の人口 約11万人
オホーツク総合振興局管内(約26万人)の最多人口(約42.7%)



知床国立公園
(世界自然遺産)



阿寒摩周国立公園



網走国定公園



大雪山国立公園

北見市の気候(気象庁HPからデータ抜粋)

	令和4年度	過去(1976~)
最高気温	33.2℃	38.1℃(2019)
最低気温	-24.4℃	-30.9℃(1978)
平均気温	6.9℃	4.6~7.6℃
年間降水量	803.5mm	1,083mm(2006)
年間日照時間	1,847.3h	2,016h(2014)

北見市近郊観光スポット



北見工業大学全景

北見工業大学

アルゴグラフィックス
北見カーリングホール

社会連携推進センター

年		主 な 事 項
1960年	昭和35年	北見工業短期大学 設置
1966年	昭和41年	北見工業大学 設置
1984年	昭和59年	北見工業大学大学院工学研究科修士課程 設置
1997年	平成 9年	北見工業大学大学院工学研究科後期課程 設置
2004年	平成16年	国立大学法人に移行
2020年	令和 2年	創立60周年を迎える
2022年	令和 4年	小樽商科大学、帯広畜産大学と経営統合 (国立大学法人北海道国立大学機構 設立)

現在の組織	学科・専攻数	定 員
学部	2学科	410 名
大学院博士前期課程（修士）	1専攻 5専修プログラム	120 名
大学院博士後期課程（博士）	1専攻	12 名

理 念

人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く

使 命

個々の専門分野についての基盤的な技術、知識
を有するのみならず、
学際領域や新分野の開拓にも柔軟に対応できる能力
を持ち、
自然と調和した科学技術の発展と
国際社会への対応を念頭においた技術開発
を行い得る人材を養成

- 主体的に問題を解決できる能力と広い視野を有し
産業界で活躍できる工学技術者を養成
- 基礎学力や応用能力、課題解決能力や協働能力の
育成を重視
- 実験・実習・演習：「アクティブラーニング」増



「プレゼンテーション能力」

「コミュニケーション能力」

「自己管理能力」

「チームワーク・リーダーシップ」

「創造的思考力」

国際社会に適用可能な「語学力」

工学技術者としての「倫理観と責任感」

各専門分野における基盤的知識と問題解決能力を有し、**創造性**に富み、**企画力**や**指導力**を発揮して知の世紀をリードする、**個性ある専門技術者としての能力**を養成する。

独創的で高度な研究を推進する中で未来志向を喚起する教育を行うとともに、多様な異文化との協調を図りながら新しい時代を切り拓くことのできるたくましい人材を育成するために「**人間力教育**」の充実を図り、学部段階で獲得した基礎知識を基にして、工学分野の基盤技術を担う**実践的な専門技術者としての素養**を涵養する。

令和5年度入学者の構成

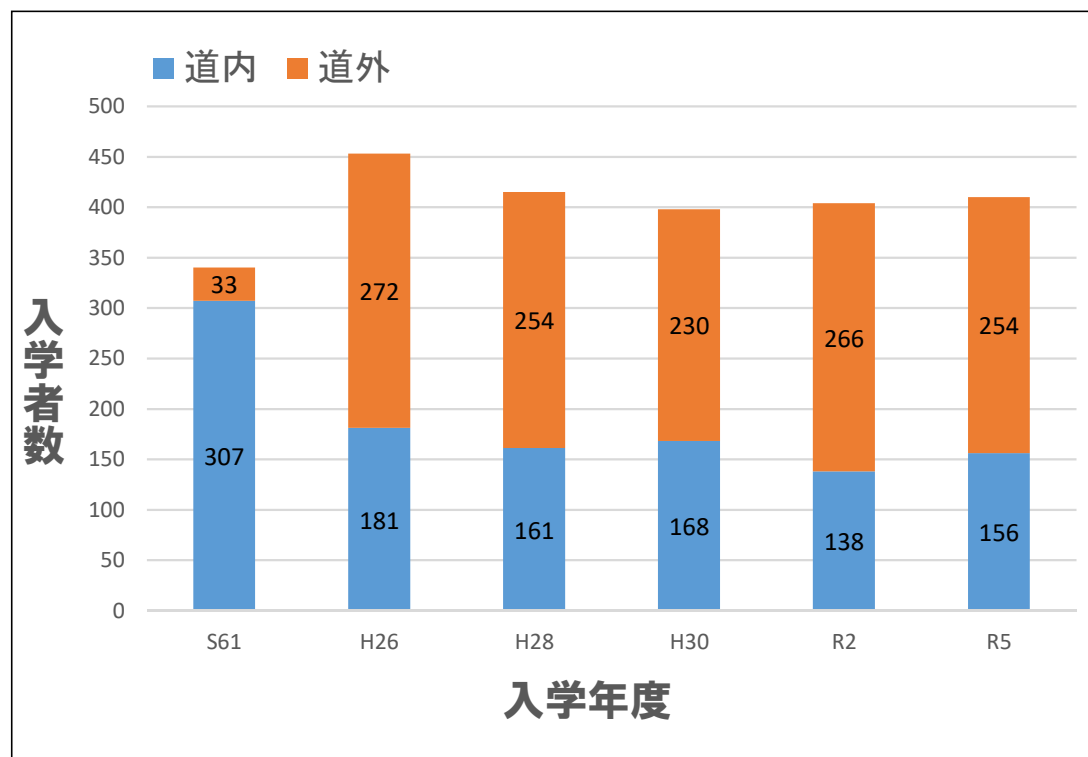
令和5年度入学者数

総数	国内		留学生
	道内	道外	
415 (50)	156 (24)	254 (26)	5 (0)

※ () の数字は女子学生数

女子学生	道外からの学生	留学生
12%	61%	1%

最近の10年間では、
道外からの入学者数が
50%以上で推移



令和5年度前期の主な学事日程

(令和5年)

4月 1日～4月 4日	春季休業日
5日	入学式(編入生を含む)
5日～4月 6日	新入生ガイダンス
10日	前期授業開始
6月 10日	保護者懇談会(オンライン)
13日	開学記念日
24日	保護者懇談会(対面)
8月 2日	補講等調整期間
3日～8月10日	前期定期試験
11日～9月18日	夏季休業日
9月 5日	学位記授与式
19日～9月28日	集中講義・補講等調整期間
29日	就職ガイダンス(予定)



Campus View
(図書館コミュニケーションホール)

学力不振者

= 単位修得が著しく遅れている学生には
退学勧告や**履修制限**などの措置

※審査は毎年度末に行います。

※履修制限や卒研未着手になると卒業が最低 1 年延期になります。

(詳細は入学時に学生本人に配布している「学生便覧」に記載)

スクリーニング制度

審査対象者	審査基準	措置	R4年度末 対象者数
1 年次学生	25単位未満	コース移行・ 履修制限	32
通算在学期間が 1 年以上 2 年未満の者	10単位未満	退学勧告	21
通算在学期間が 2 年以上の者	15単位未満		
2 年次学生	60単位未満 又はコースに移行していない者	履修制限	67

※スクリーニング審査基準・措置は入学年度によって異なります。

- 1 年前期～1年後期までに履修した科目に関するGPA
- 本人の希望

- ※ 1 年次終了時点でコース移行・履修制限の対象となった者は除きます。
- ※ $GPA = (\text{単位数} \times \text{評価点}) \text{ の総和} \div \text{単位数の総和}$ （不合格科目含む）
- ※ GPAが同点の場合はCGP（単位数×評価）の総和を使用します。
CGPも同点の場合は、「秀」の単位数が多い者を上位とし、「秀」の単位数も等しい場合は「優」の単位数が多い者を上位とします。
「優」の単位数も等しい場合は同順位とします。

コース配属方法については、入学年度により詳細が異なります。

スケジュール (R5入学者予定)

時 期	
2024年2月下旬	後期成績入力期限
3月上旬	スクリーニング判定
3月上旬	希望コース申請期間
3月下旬	コース配属結果通知

※令和5年度後期定期試験：2/6～2/14

研究室配属方法

- ① 研究室の希望を受付
- ② 成績CGPと研究室配属条件Kwi
を加味して求めたCGPwを基準
に配属研究室を決定

- * CGP: 各科目の評価点に単位数を乗じて総和をとった値
- * Kwi: 教員が自研究室への配属の条件としてコースごとに
設定した係数
- * CGPw: コース科目毎のCGPにKwiを乗じて総和をとった値

研究室配属方法については、編入生及び平成28年度以前入学者
の場合、詳細が異なります。

研究室配属スケジュール

時 期	事 項
2023年(3 年次)10月	システムの公開 学生：システムでCGPwを確認
2023年(3年次)11月	1次配属 学生：CGPwの確認 配属希望調査の入力 教務課：1次配属処理
2024年(3年次)3月	卒研着手者の確定
2024年(3年次)3月末	2次配属 学生：CGPwの確認 配属希望調査の入力 教務課：2次配属処理



Campus View
(コミュニケーションアトリウム)



学生会館・食堂
(平成23年1月増築・改修)



1号館
コミュニケーションアトリウム
(平成18年2月新設)



1号館正面玄関
(平成19年2月改修)



3号館
(平成15年6月新設)



講堂 (平成22年3月改修)



コミュニケーションホール
(平成19年2月新設)



図書館
(平成20年1月改修)



教育・研究環境の整備・充実

男子寮・女子寮



男子寮: 北苑寮

定員127人、鉄筋4階建て、個室
寄宿料: 16,000円(月額)
維持管理費: 60,000円(年額)
新入生募集人員: 25人程度

女子寮: 北桜寮

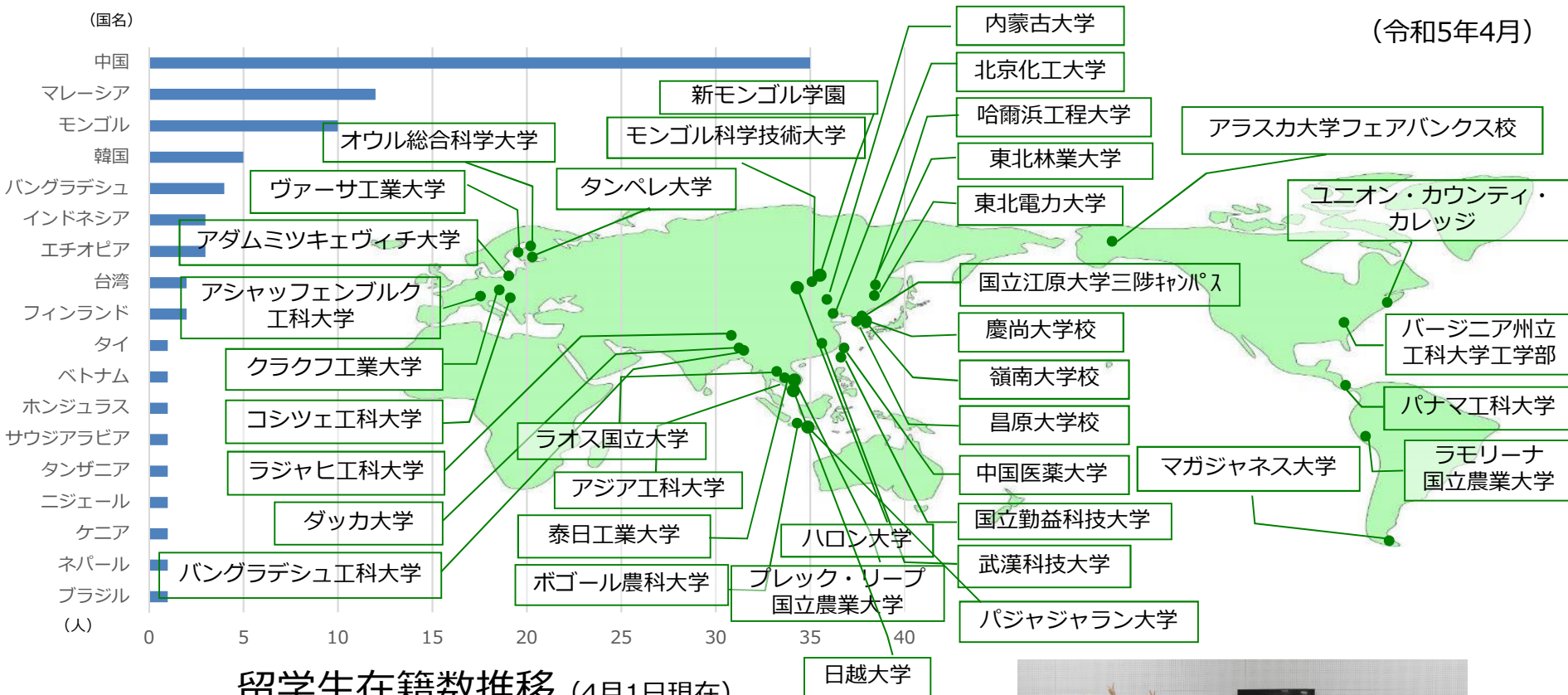
定員24人、鉄筋4階建て、個室
寄宿料: 月額40,100円(月額)
(維持管理費等含む)
新入生募集人員: 6人程度
※玄関オートロック、管理人あり

※いずれの寄宿料についても、光熱水費を含みます。

令和5年4月 留学生総数 85人

国際交流協定大学 18カ国・地域 38大学

(令和5年4月)



年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5
人数	96	86	79	90	79	85



新カーリングホール体験

※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての海外派遣事業を実施することができませんでした。

令和4年度から徐々に、国際交流協定校への留学、語学研修等、海外との往来を伴う活動を再開しています。

交流協定校への留学

平成30年度	ドイツ（2人）、ポーランド（1人）	3人
令和元年度	ペルー（1人）	1人
令和4年度	ポーランド（2人）	2人

海外研究発表

平成30年度	17人
令和元年度	16人
令和4年度	10人

短期語学研修

平成30年度	ドイツ	アシャッフエンブルク応用科学大学	7人	3週間
	豪州	シドニー大学	3人	2週間
	アメリカ	ウェスタンワシントン大学	4人	3週間
	中国	北京化工大学	4人	1週間
	台湾	中国医薬大学	4人	25日間
令和元年度	台湾	勤益科技大学	4人	5日間
	豪州	シドニー大学	2人	2週間
	アメリカ	ウェスタンワシントン大学	3人	3週間
	韓国	慶尚大学校	10人	8日間
令和4年度	フィリピン	エンデラン大学	2人	1週間
	台湾	中国医薬大学	7人	1週間



●CoursePower

- ・授業の教材をインターネットで閲覧・ダウンロードし予習や復習が可能
- ・授業に関するお知らせ発信



●CampusSquare
学生の成績・履修・出席状況・
面談記録等、総合的に情報を
管理



CAMPUSSQUARE

[教員 画面](#)
[スマホ版](#)
[English](#)
[持ち帰り 30分](#)
[ポータル 20分](#)
[ログアウト](#)
[ヘルプ](#)

[HOME](#)
[学生情報](#)
[届出](#)
[成果](#)
[授業、ゼミ](#)
[施設利用](#)
[サービス](#)
[アンケート](#)
[図書](#)
[教職](#)
[安全・保健](#)
[開校記録](#)
[関係機関連携](#)

● 学生情報の検索について
● 学生ポートフォリオ
● カテゴリ表示の順

● 新着情報

あなただけの新着情報はありません。
期間: 2018/06/08 10:54

● お知らせ

現在、お知らせはありません。

学数研
Eメール 通知

● MYスケジュール

2018年6月						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2018/06/08(Fri)
登録されている予定はありません。

● 学生ポートフォリオ 学数情報

● 学数情報

● 所属記録

● 学生個人情報

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

● 出席・欠席

学数基本情報

学数番号	1000000029	学生氏名	【テスト】 杜笠 学生A
学生氏名(カナ)	【テスト】 シヤカ / カケイ B	学生氏名(英字)	
所属	工学部 (テストデータ) / 社会福祉工学科 (テストデータ)	学年	1年
所属区分	工学	学生番号	学号生
クラス		出席番号	
セメスタ・通年制	通年制	セメスタ数	

学数情報

専修年月	2012年04月	入学年月日	2012年4月1日
入学区分		入学区分	一般入学
入学年次	1年	卒業・修了 (単位) 年月日	

関係機関連携

年度	学期	連携科目(5)	科目名
2015年度	前期	創制担任	【テスト】 筑前 Test0001

スクリーニング情報

年月日	スクリーニング結果
2017年11月20日	除籍
2017年12月22日	転籍
2017年12月22日	除籍

経済支援の種類(令和5年度)

制 度	概 要	学部	大学院 前期
授業料減免及び奨学金 (給付型)	日本学生支援機構(高等教育の修学支援新制度)	○	
入学料免除	経済的理由及び学業成績(大学院のみ) 入学前1年前の学資負担者死亡、天災等の被害	○	○
授業料免除	経済的理由及び学業成績(大学院生のみ) 授業料納入の6ヵ月前の学資負担者死亡、天災等の被害	○	○
授業料免除	本学独自(学部3年次に申請し、予約免除に決定した者)		○
授業料免除	本学独自(博士後期課程進学予定者)		○
奨学金(貸与型)	日本学生支援機構	○	○
地元就職奨学金 (給付型)	卒業または修了後、オホーツク管内の賛助企業に3年以上 勤めることが条件(学部4年次または大学院前期2年次の1年間:3万円/月)	○	○
奨学金(給付型)	修了後、北見市内に3年以上勤めることが条件:4万円/月		○
学生厚生基金(貸与型)	限度額2万円	○	○
学費サポートプラン (オリコ)(貸与型)	入学金, 授業料の立替 (限度額500万円)	○	○

◆授業料徴収猶予・月割分納

【徴収猶予】 特別な事情により納入が困難であると認められた場合、各期末日まで授業料の納入を猶予します。

【月割分納】 特別な事情により納入が困難であると認められた場合、申請状況により3回～4回に分けて授業料の納入ができます。

特別な事情について

授業料の各期ごとの納期前6月以内において、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、
納入が困難であると認められる場合

上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

高等教育の修学支援新制度

「高等教育の修学支援新制度」について、本学は本制度の対象機関となっておりますので、本制度の利用が可能です。

本制度の概要については以下に抜粋しておりますが、詳細については文部科学省ホームページ(<https://www.mext.go.jp/kyufu/>)でご確認ください。

支援区分*1	入学料免除額 (実質負担額)	授業料免除額 (実質負担額)*2	給付奨学金	
			自宅通学	自宅外通学
第一区分 【全額支援】	282,000円 (0円)	267,900円 (0円)	29,200円	66,700円
第二区分 【2/3支援】	188,000円 (94,000円)	178,600円 (89,300円)	19,500円	44,500円
第三区分 【1/3支援】	94,000円 (188,000円)	89,300円 (178,600円)	9,800円	22,300円

*1:各期毎に支援区分の見直しがあります。

*2:授業料は各期267,900円(年間535,800円)です。

入学料・授業料減免、給付奨学金を受けるには学業成績等の基準及び家計等の基準を満たしている必要があります。※基準は次ページ参照

○学業成績等の基準について

(学部新入生)

次の1～3のいずれかに該当する必要があります。

- 1: (学部1年次) 高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位2分の1の範囲に属すること
- 2: 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること
- 3: 将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

(学部2年次～4年次)

次の1～2のいずれかに該当する必要があります。

- 1: 在学する大学等における学業成績について、GPA(平均成績)等が上位2分の1以上であること
- 2: 修得単位数が標準単位数以上であること及び将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

○家計等の基準について

収入・所得に基づく課税状況等で判断され、支援区分が決定されます。どの支援区分に該当するかは右のQRコードから確認することができます。

QRコードが読み込めない場合は、[進学資金シミュレーター](#)で検索してください。



授業料免除の基準

※授業料免除には、学業成績に関する基準と収入基準があります。

	授業料免除学業成績基準
学部学生	学資負担者死亡、天災等の被害など家計が急変した場合を除き、令和2年度から 高等教育の修学支援新制度に移行。
大学院(1年次)	大学学部又は博士前期課程(修士課程)における修得科目のうち、「秀」、「優」及び 「良」の数が全体の60%以上であること。
大学院(2年次以上)	前年度までの修得単位数が、課程の修了に必要な単位数の80%以上で、かつ、 既修得科目のうち、「秀」、「優」及び「良」の数が全体の60%以上であること。

※授業料免除の**収入基準の目安**は以下のとおりです。

	給与収入(年収)上限	
半額免除	672～808万円	世帯構成、収入形態、通学状況(自宅・ 自宅外)、兄弟姉妹の状況等により決 まります。
全額免除	452～647万円	

注)表の上限範囲は目安であり、世帯構成により異なる場合があります。また、基準額を満たしていても、申請者が多い場合は、予算の枠内で収入が低い家庭から免除を行うため、免除にならない場合があります。

授業料免除の実績 学 部

年度	出願者	免除該当者	選考結果
H30	644	612	612
R1	620	553	553
R2	418	374	374
R3	251	228	228
R4	112	105	105

大学院

年度	出願者	免除該当者	選考結果
H30	241	209	209
R1	251	218	218
R2	229	200	199
R3	213	183	185
R4	205	179	179

※各年度の数は、前期・後期の延べ人数

授業料免除と奨学金

日本学生支援機構 奨学金全採用者数

年度	学部	大学院修士	大学院博士
H30	239	72	2
R1	227	59	1
R2	375	47	0
R3	265	47	2
R4	246	43	1

貸与奨学金 貸与可能額(月額)

種別	学部	大学院修士	大学院博士
第一種奨学金 (無利子)	2万～ 5.1万円	5万～ 8.8万円	8万～ 12.2万円
第二種奨学金 (有利子)	2万～ 12万円	5万～ 15万円	5万～ 15万円

- ※ 申請者(学内審査)のほぼ全員が採用
- ※ 学部採用者には高校での予約採用者を含む

日本学生支援機構 給付奨学金受給者数(人数は令和4年度)

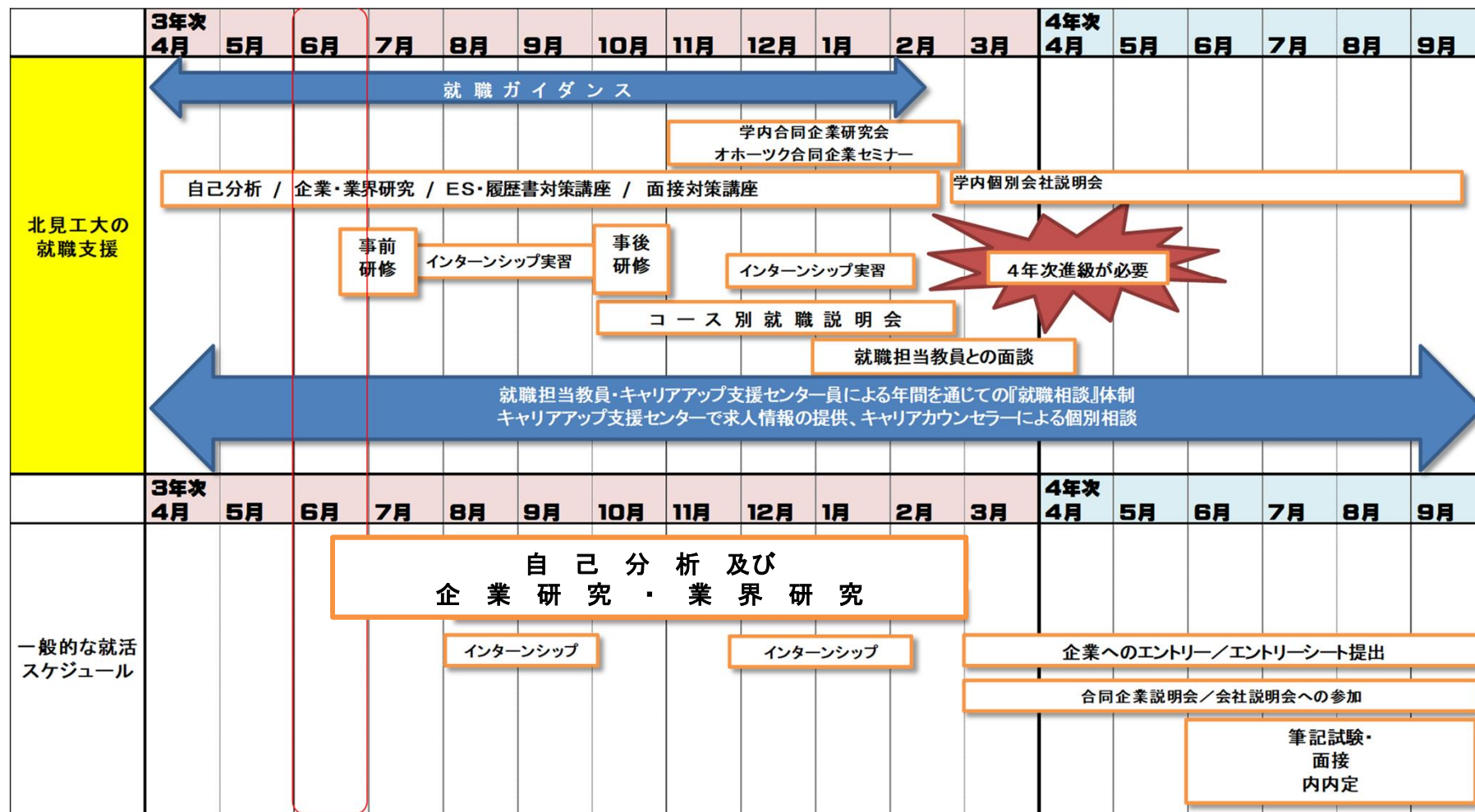
支援区分	人数	授業料免除額 (実質負担額)	給付額(月)	
			自宅通学	自宅外通学
第一区分 【全額支援】	105	267,900円 (0円)	29,200円	66,700円
第二区分 【2/3支援】	44	178,600円 (89,300円)	19,500円	44,500円
第三区分 【1/3支援】	27	89,300円 (178,600円)	9,800円	22,300円

日本学生支援機構のほか、地方公共団体や財団等から奨学金があります。
例)北見市大学生奨学資金貸付、日揮・実吉奨学会、上田記念奨学財団など



Campus View

就職活動スケジュール



就職担当教員・ 就職活動支援係

就職担当教員（3年次に決定）

- ①個別面談 ②求人情報の提供
- ③企業の開拓 ④推薦状の発行

（現在：各系から2名以上の体制）

→学生の就職活動を支援

就職活動支援係

就職ガイダンス・合同企業研究会
等の企画・実施

就職活動の形態

1) 自由応募

学生が企業に直接応募
複数の採用内定可能

2) 大学推薦

企業が大学（就職担当教員）に推薦依頼
教員が学生の希望を考慮して推薦
（推薦書の発行）

複数の企業への同時推薦は不可
採用内定の断りは原則的に不可

3) 自由応募と大学推薦の併用

（大学推薦の内定企業を優先）

- 1) キャリア教育（必修科目「キャリアデザイン」）
- 2) キャリアアップ支援センター
（求人票や就職情報の提供、個別就職相談）
- 3) 各系の就職担当教員による個別指導
- 4) インターンシップ（業界・業種の理解を深める）
- 5) 各種就職ガイダンス
（自己分析やE S対策講座、面接対策講座等）
- 6) S P I 模擬試験
- 7) 合同企業研究会、オホーツク合同企業セミナー、
官公庁合同セミナー



キャリアアップ支援センター



合同企業研究会

参加企業約237社
参加学生数延べ989人
※令和4年度実績



オホーツク合同企業セミナー

単位認定

開講時期	学科・専攻	必修・選択別	単 位	期 間
学 部 2・3年次	各学科	選 択	1 単位	1週間（概ね40時間）以上
大学院博士前期 課程 1・2年次※	工学専攻	選 択	1 単位	1週間（概ね40時間）以上

※大学院博士前期課程について、令和2年度以前の入学者は2単位（2週間／概ね80時間）以上

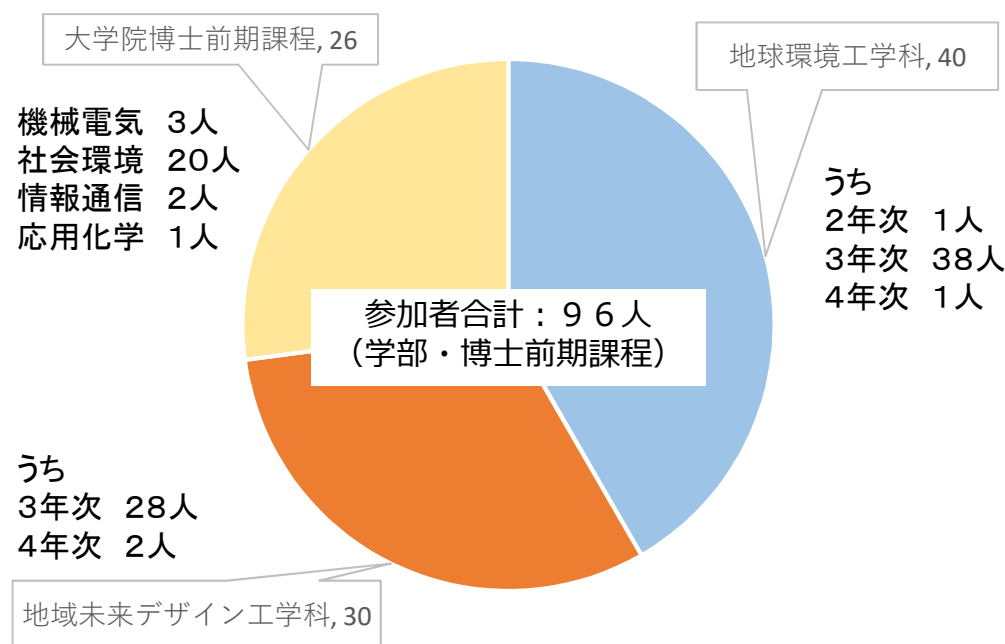
令和4年度受入企業数

受入可能 企業数 (うち官公庁)	マッチング 成立企業 (うち官公庁)
254 (31)	84 (21)

マッチング成立企業の業種としては、

- ・建設、建設コンサル業
 - ・公務
 - ・情報通信業
- が多い

令和4年度インターンシップ参加者構成



学部卒業生の進路

年度	卒業者数	進学 決定者数	就職 希望者数	就職 決定者数	進学率	就職率	就職希望者 の就職率
	A	B	C	D	B/A	D/A	D/C
平成30年度	368	122	225	223	33.2%	60.6%	99.1%
令和元年度	377	120	245	240	31.8%	63.7%	98.0%
令和2年度	389	131	248	239	33.7%	61.4%	96.4%
令和3年度	383	134	230	221	35.0%	57.7%	96.1%
令和4年度	401	142	238	227	35.4%	56.6%	95.4%
平均					33.8%	60.0%	97.0%

大学院博士前期課程修了生の進路

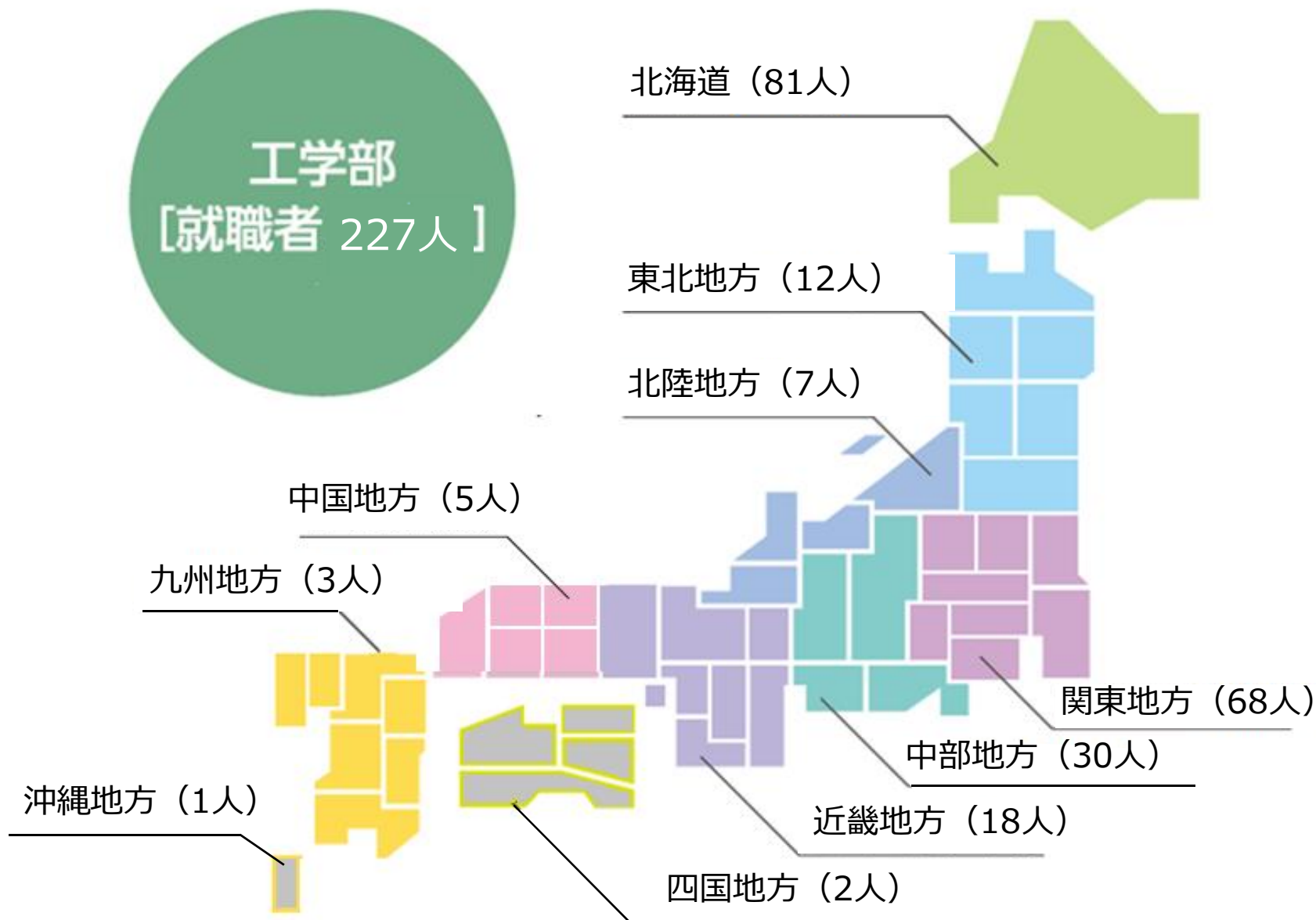
年度	修了者数	進学 決定者数	就職 希望者数	就職 決定者数	進学率	就職率	就職希望者 の就職率
	A	B	C	D	B/A	D/A	D/C
平成30年度	99	8	91	91	8.1%	91.9%	100.0%
令和元年度	128	3	123	123	2.3%	96.1%	100.0%
令和2年度	114	6	106	104	5.3%	91.2%	98.1%
令和3年度	97	3	91	91	3.1%	93.8%	100.0%
令和4年度	111	8	102	101	7.2%	91.0%	99.0%
平均					5.1%	92.9%	99.4%

産業別就職状況（令和4年度）

産業区分	学部卒業生
建設業	12.3%
製造業	22.5%
学術研究、専門・技術サービス業	8.4%
情報通信業	18.5%
公務員	22.5%
サービス業	3.5%
その他	12.3%

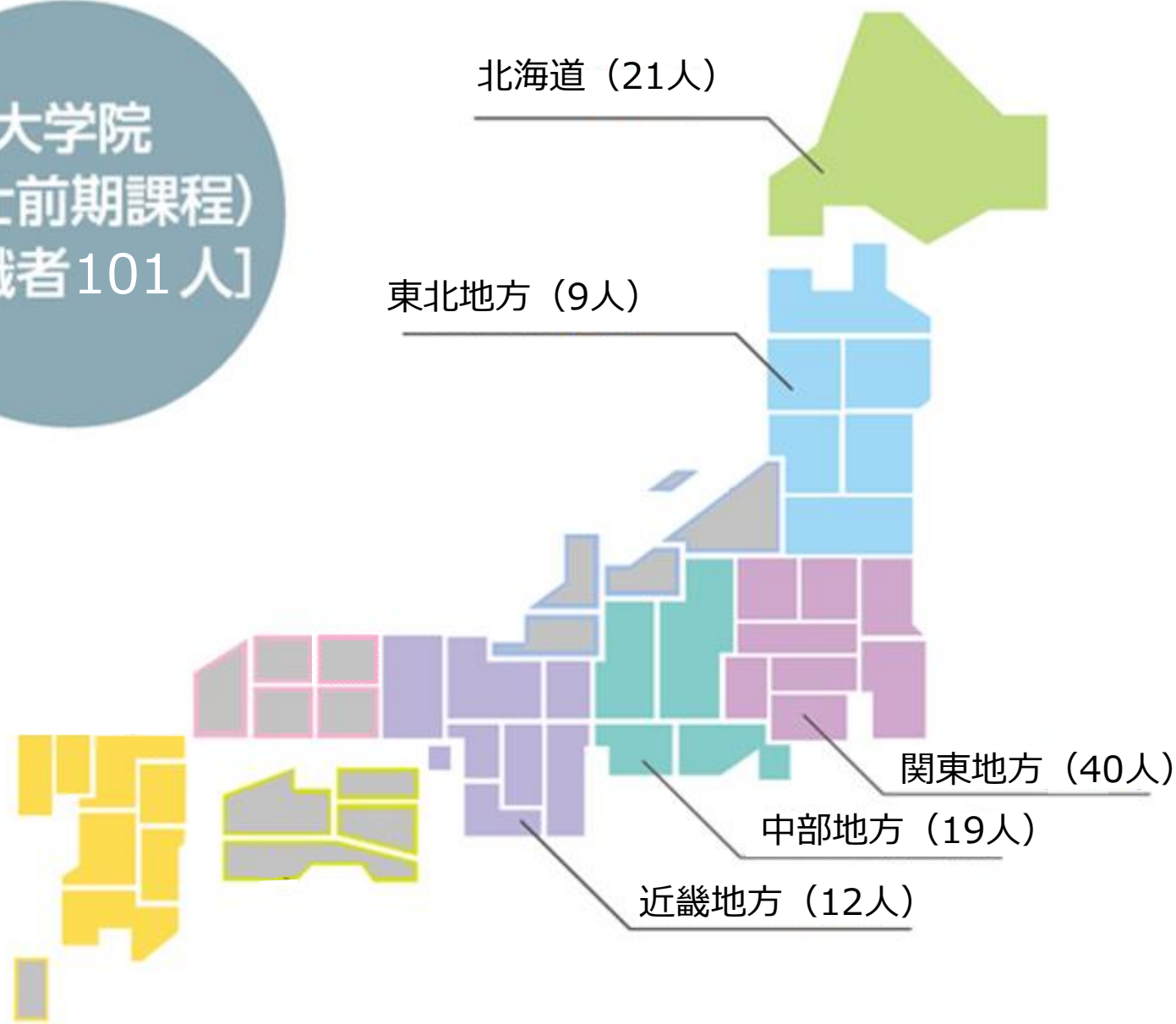
産業区分	博士前期課程修了生
製造業	43.6%
学術研究、専門・技術サービス業	7.9%
建設業	12.9%
情報通信業	10.9%
公務員	10.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	5.0%
その他	8.8%

地域別就職者数（令和4年度）



地域別就職者数（令和4年度）

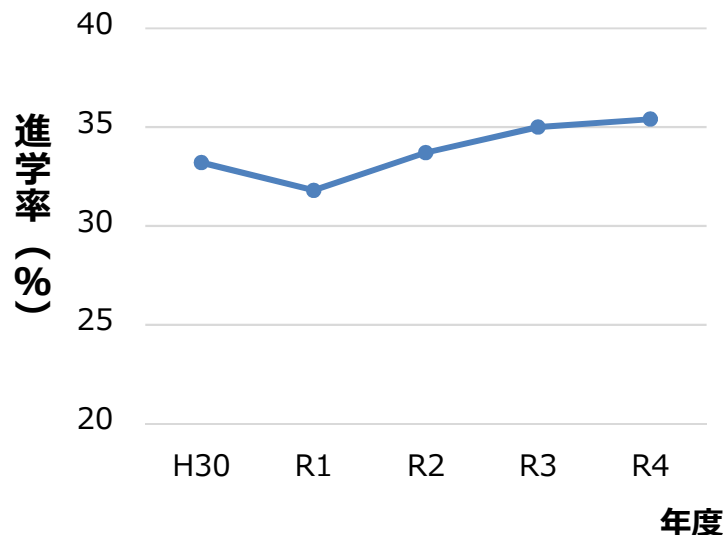
大学院
(博士前期課程)
[就職者101人]





Campus View

工科系学生の大学院進学率
全国平均 50 %
本学は30%代を推移



大学院進学率（学部→大学院）
（他大学進学も含む）

本学大学院のアドミッションポリシー（抜粋）

博士前期課程（2年）：修士

専門技術者として、責任感を持って社会の持続的発展に
貢献しようとする志のある人

博士後期課程（3年）：博士

工学分野における博士前期課程終了程度の専門知識と幅広い視野を持つ人

大学院博士前期課程入学試験

○推薦入試（年1回実施）

TOEICの成績証明書及び学部の成績証明書では、入学後の学びに係る必要な学力を備えていることを判定し、推薦書及び面接では、研究に対する意欲や課題を解決するための思考力などを判定した上で、総合的な評価を行います。

○学力試験入試（年2回実施）

口頭試問による専門に関する学力検査、TOEICの成績を利用した英語試験及び学部における成績証明書では、入学後の学びに係る必要な学力を備えていることを判定し、面接では、研究に対する意欲や課題を解決するための思考力などを判定した上で、総合的な評価を行います。

※詳細は募集要項をご確認ください

大学院博士前期課程入学後

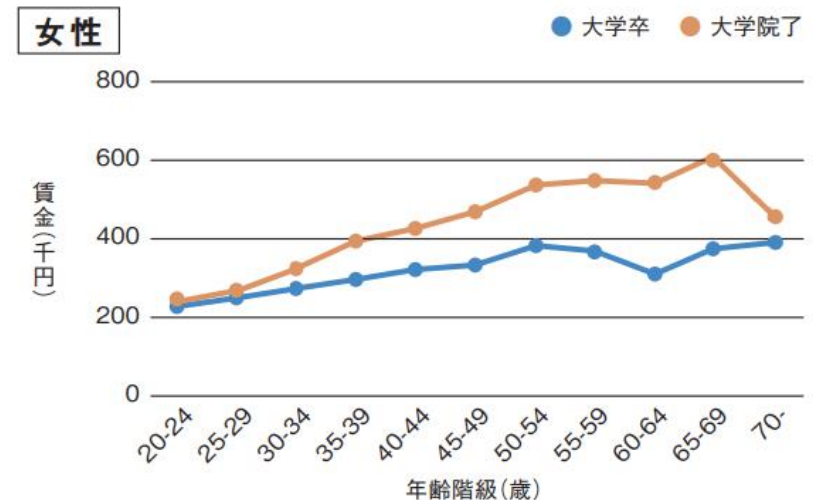
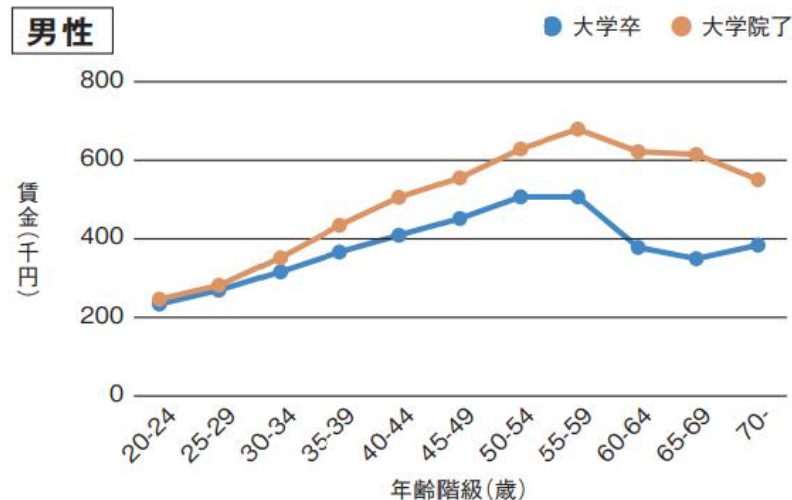
- 1) 学部成績優秀者は授業料の一部を免除
- 2) 高度で実践的な専門知識と問題解決能力の修得
- 3) TA（教育補助者）として指導力を醸成

就職後も好待遇

大学院修了の場合、**学部卒に比べて賃金水準が高い**ことが一見して明らかで、年齢を追うごとに差が顕著になります。男女別に見ても同様の傾向があります。

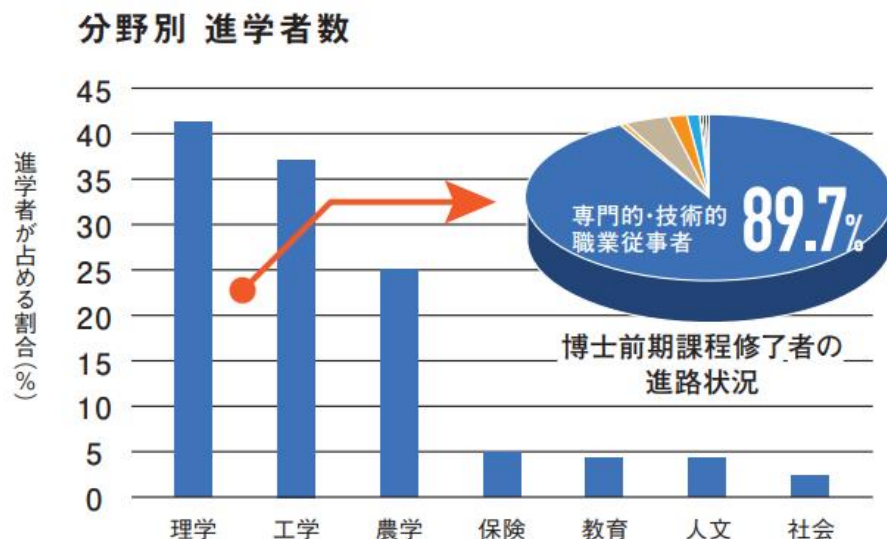
また、**年収1000万円以上の人口も多く、65歳以上の就労率も高い**というデータもあります。

学歴・年齢別賃金



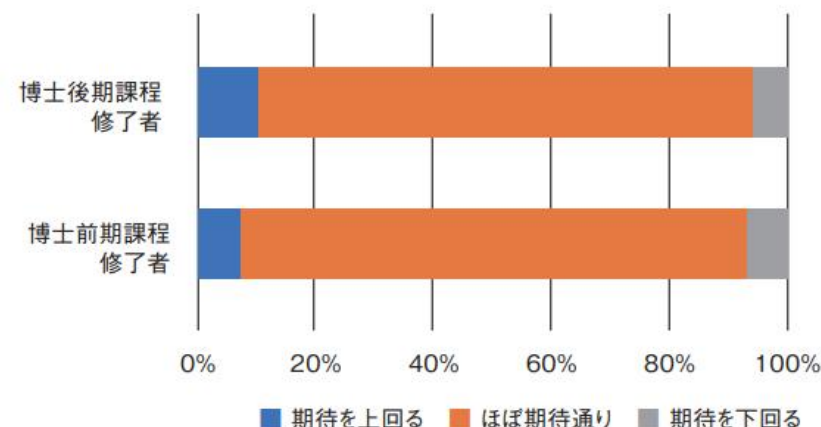
厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」より

大手企業の理工系採用は大学院修了を基本とすることが多く、理工系学部の学生の4割が大学院へ進学しています。そのうちの約9割が技術系の専門職に従事しています。また、企業に行ったアンケートでは、採用した研究開発者に対する印象は「期待を上回った」「ほぼ期待通り」の声が9割を超えており、ミスマッチの少ない採用が行われています。



文部科学省「令和3年度学校基本調査」より

研究開発者の採用後の印象



科学技術・学術政策研究所
「民間企業の研究活動に関する調査報告2020」より

A. 少子化に対応

◎学生確保

- ・新たな工学系人材としての候補者の発掘と受入れ教育研究環境の整備

B. 社会・産業構造の変化に対応

◎第4次産業革命、Society5.0の進展に対応できる高度専門技術者の育成

- ・6年一貫的教育システムを構築し大学院進学を促進

C. 地域の過疎化・高齢化・衰退に対応

◎地域への人材輩出

- ・地域に根ざした新たな人材候補の発掘と育成

◎地域創生

- ・地域の産業を支え発展させる高度専門職業人の育成

D. 高等教育における国立大学の役割・機能の変化に対応

◎H29年度学部改組の趣旨の継承と分野融合的専門教育の高度化

◎大学間連携の強化→三大学連携の推進

◎リカレント教育の推進

◎俯瞰的視野と高度な専門知識・能力を持つ工学系人材の育成

◎北海道・日本の産業界の発展に貢献する高度専門職業人の輩出

学部教育で培われた「特定の学問分野にとらわれない幅広い視野と柔軟な思考力」を基盤に、さらに高度な専門能力を修得した工学系人材の育成を目的とする教育課程を構築

工学部2学科・8コースを基盤として
融合的に編成（令和3年度以降）
令和5年度からはマネジメント工学プログラムが
新設され、工学研究科1専攻、5専修プログラムとなった

工学部(410名)

エネルギー総合工学コース(70)

環境防災工学コース(65)

先端材料物質工学コース(55)

地域マネジメント工学コース(20*)

機械知能・生体工学コース(60)

情報デザイン・コミュニケーション工学コース(70)

社会インフラ工学コース(45)

バイオ食品工学コース(45)

工学研究科(120名)

機械電気工学プログラム(39)

社会環境工学プログラム(27)

情報通信工学プログラム(19)

応用化学プログラム(31)

マネジメント工学プログラム(4)

※令和5年度～新設



Campus View